



カンボジア孤児院の子どもたち

礎の石孤児院 ファミリーホーム開設 ニュースレター



新春のお慶び申し上げます。昨年は皆様の多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。今年も皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

とある非営利団体のファミリーホーム設置事例を調べている中で、ファミリーホーム設置に向けて、重要な課題として地域住民との関係性については丁寧な対応が必要だと学びました。その団体では当初住民から強い反対を受けましたが、3年かけて自治会活動への積極的な参加を通じて理解を得ることができたとのこと。まず里親として活動し、地域との信頼関係を築いてからファミリーホームへ移行する段階的なアプローチが有効とのことでした。運営形態には法人型と個人型(里親移行型)があり、それぞれに特徴があり、法人型の特徴としてはより多くの補助金を受けられる可能性がある。しかし、厳格な監査がある。養育者は法人職員として雇用される。個人型の特徴としては、養育者が直接責任を持つ。会計管理が比較的シンプル。より柔軟な運営が可能。労務管理の課題では法人型の場合、特に重要となるのが労務管理とのこと。事例では、みなし労働時間制を導入し、労働基準監督署と協議のうえで職員の労働時間協定書を整備していました。これは、24時間体制の養育という特殊性に対応するための重要な施策といえます。養育体制の確保としては養育者について、最低1名は施設に居住すること。夫婦での運営が望ましい。養育者と補助者合わせて最低3名の体制が必要とのこと。以上がリサーチの上でわかってきたことです。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ファミリーホームでは養育者および養育補助者を募集しております。応募資格は、福祉系の大学または専門学校卒業、あるいは児童養護施設や乳児院での3年以上の勤務経験となります。ご興味のある方は、ぜひご連絡ください。

礎の石孤児院 総主事 真境名 歩

ファミリーホーム開設支援のお願い

2011年3月11日の東日本大震災は、東北地方を中心に日本社会に甚大な被害を及ぼしましたが、礎の石孤児院として、被災地でのファミリーホーム設立を支援いたしました。

さらに礎の石孤児院は、国内での活動の幅を全国規模に広げ、展開していく方向で動いております。益々のご支援をより一層お願い申し上げます。

*ファミリーホームとは

「要保護児童」(保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適正であると認められる児童)の養育に関し、里親など相当の経験を有する者やその他の厚生労働省令で定める者の住居において養育を行う事業をいう。
(小規模住居型児童養育事業) (受入児童は最終的には5・6人となります)

活動実績

福島県郡山市ファミリーホーム「アーモンドの枝」の地積703㎡(212.65坪)
の土地総取得費36,396,079円(2013年3月～2014年6月)、
総工費41,052,945円(2015年4月～2016年7月)を社会福祉法人「からし種の会」へ寄付。

日本でのファミリーホーム開設支援 会計報告 2024年11月

用途指定寄付金	前月繰越金	収入	支出	次月繰越金
日本ファミリーホーム開設支援基金	¥11,024,554	¥106,317	¥196,253	¥10,934,618

支援金送付先

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

口座番号 普通 2915961

口座名 特定非営利活動法人礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

口座番号 00120-5-417839

加入者名 特定非営利活動法人礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

PayPal



礎の石孤児院では PayPal(ペイパル)を利用し、クレジットカードで寄付ができるようになりました。詳しくはホームページをご覧ください。

ファミリーホーム
開設支援窓口

認定NPO法人 礎の石孤児院 東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزビル岩崎201

TEL 03-5740-8814 FAX 03-5740-8817

E-mail ishizue@athena.ocn.ne.jp

WEBサイト <http://www.cornerstone.or.jp/>



礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。